

GREEN RADAR

重点事業方針 A-Policy

- ・平成28年度 生産販売部 米穀課事業方針
- ・平成28年度 生産販売部 果実課事業方針

レポート A-Reports

- ・長野県産ブランドの販売強化、生産者所得向上、卸売会社との連携強化のために
～「平成28年度長野県青果物・花き取引会議」を開催～
- ・宅配商品の良さを実感していただきました
～「JAみなみ信州で宅配利用者懇談会」～
- ・金芽米おにぎり、きのこ汁が大好評！
～佐久で東都生協田植え交流会開催～

Vol.446
JULY 2016

7



平成28年度長野県青果物・花き取引会議



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

米穀課

平成28年度生産販売部米穀課事業方針

■米穀事業をめぐる情勢

国は平成25年12月「新たな農業・農村政策」の中で、平成30年産米から主食用米の生産数量目標の配分を廃止し、生産者団体自ら需給状況を判断しながら生産を行う方針を示しました。

また、平成28年2月のT P P 最終合意は、米・豪州のS B S 国別輸入枠等に関する合意がなされました。国は同量の国内産米を政府で買い上げるとして、影響はないといいますがT P P が実施されれば輸入米が

低価格米需要に拡大する恐れがあること、政府米の備蓄期間が3年に短縮されることなど、潜在的に価格低下圧力となると懸念されます。

平成28年度は平成30年産以降の米穀事業の在り方を検討するとともに、「生産者手取り最大化」のため、他県に先駆けて実施した重点実需者販売や、県域共同計算を主体とした高い系統結集力を最大限に活用し事業を展開します。

※ S B S … 売買同時入札制度

■平成28年度の重点推進事項

(1)平成28年産米集荷推進

①長野県本部米穀事業基盤強化対策を有効活用し、J A 別集荷目標に向けて集荷数量の積み上げを推進します。

②長野県オリジナル品種である「風さやか」の作付け・集荷を推進します。

③平成27年産で供給量が需要量を上回った酒造好適米は適正な生産量となるよう生産誘導を行います。

④平成28年産米の概算金は農家手取り向上となるよう設定します。

(2)平成28年産米販売推進

①情報収集により平成28年産販売

状況を見極め、収穫前契約の積み上げに努めます。また、卸会社・実需者との連携のもと複数年契約の検討を進めます。

②卸会社・実需者との連携強化による新米販売を推進します。また、3月末販売進捗50%を目標に早期販売に努め、販売経費の削減を図ります。

③「風さやか」については県内を中心に販売推進を行います。また、酒造好適米については、日本酒の需要拡大を通じた拡販を図ります。

④産地と連携し日本穀物検定協会の食味ランキング「特A」獲得を目指します。

⑤県内を中心に各種メディアの活用やキャンペーンを積極的に展開し、「長野米」の認知度向上と消費拡大に取り組みます。

(3)平成30年以降の米穀事業の在り方検討

①米穀プロジェクトを設置し平成30年以降の米穀事業の在り方の検討を開始します。

②加工用米や備蓄米・飼料用米などの水田活用米穀を一括した共

同計算を行うなどの新たな精算手法を検討します。

③重点卸会社と連携した、長野米の新規輸出について検討します。

(4)長野米の生産性向上・品質向上・安全安心の取り組み

①関係機関と連携し、多収穫栽培試験を実施し、業務用適性米生産の検証を行います。

②全長野県農産物検査室での品質調査を実施します。調査結果を有効活用し品質向上につなげます。

③J A 施設への色彩選別機の導入を促進し、異物の混入防止を徹底します。

④残留農薬・ヒ素・カドミウムの化学分析検査とD N A 検査を行い、安全・安心の検証に引き続き取り組みます。

(5)農産物検査業務

①基礎講習・鑑定練習・技能確認会の開催を通じて、農産物検査員の技術向上に取り組みます。

②J A 長野県農産物検査協議会の地区組織の整備に向けての検討を行います。



ほのかな甘い香りと豊かなうま味が感じられる「風さやか」



JA 松本駅前での長野米 PR イベント（平成28年6月4日実施）

○平成28年度米穀課事業計画

単位:千円

大品目	28年度計画	27年度計画	27年度実績	前年計画対比	前年実績対比
主食うるち米	14,469,434	13,809,600	13,967,279	105%	104%
酒造好適米	1,015,622	1,127,500	936,115	90%	108%
加工用米	381,750	539,900	373,852	71%	102%
米麦種子（購買）	576,560	653,500	648,631	88%	89%
その他	1,866,634	1,869,500	1,868,016	100%	100%
合計	18,310,000	18,000,000	17,793,893	102%	103%



JA 上伊那の田んぼとカントリーエレベーター

果実課

平成28年度 生産販売部 果実課事業方針

【平成27年度の経過】

平成27年度は、春先の好天に恵まれ、全ての果実で生育の前進化が見られ、大きな気象災害も少なかったことから、生産面では順調な年でありました。販売面の特記事項として、リンゴ関係では、競合県との情報連携を深め、特に品種が混在する10月期の販売を重点に品種間、産地間リ



ブドウ販売高100億円を超えたことを受けて開催した「ぶどう産業新時代に向けての推進大会」



リンゴフェザー苗供給準備圃場

レー販売に取り組み、合わせて中長期冷蔵による販売期間の延長により、契約的取引を実施しました。また、ブドウ関係では、シャインマスカットの増産と安定価格取引の実現により平成15年以来となる100億円を突破し、記念大会を開催しました。果実合計では平成19年以来、8年振りに350億円を超えることができ

た年となりました。

【平成28年度事業方針】

重点取組事項

- (1) 長野県果樹産地の基盤作りを進め、農家経営の安定を図ります。
 - (2) 現場主義に立脚した果実事業の展開を目指します。
 - (3) 計画生産・出荷への取組みを強化します。
 - (4) 安全・安心果実の生産供給体制を確立します。
 - (5) 消費拡大に向けた対策を強化します。
- 中期3カ年計画に基づく
果実事業実施計画（具体策）**
- (1) 生産基盤の維持・拡大
 - ① 長野県営農センターと連携した、リンゴフェザー苗の安定生産供給を進めます。
 - ② リンゴ高密度わい化栽培推進のグループ作りを進めます。
 - (2) 果樹経営支援対策事業の活用により、リンゴの需給調整及び優良品種への切り換えを進めます。
 - (2) 集荷対策の向上
 - ① 多様な生産者への販売企画提案を進めます。
 - ② J A間連携による効率的施設運用のバックアップを進めます。
 - (3) 販売力の強化
 - ① 取引卸売市場の精査と見直しを行い、出荷先の重点化を進めます。
 - ② 出荷規格の簡素化に向けた取引提案の試行を進めます。
 - (4) 商品提供力の強化
 - ① * MCP等を利用した、リンゴ長期冷蔵販売の拡大を進めます。
 - ② 加工・業務用需要へ対応した、新規栽培園地の開拓を進めます。
 - ③ 国内需給の調整を進め、輸引出引きを計画的に推進します。

* 1MCP (1-メチルシクロプロペン) …果実の成熟・老化を促進する植物ホルモンであるエチレンの作用阻害剤で、リンゴ果実に対して顕著な鮮度保持効果を示します。

長野県産ブランドの販売強化、生産者所得向上、卸売会社との連携強化のために

「平成28年度長野県青果物・花き取引会議」を開催

全農長野県本部は青果物・花きの出荷最盛期を控え、長野県産ブランドの販売強化と生産者の所得向上、卸売会社との連携強化を目的に、「平成28年度長野県青果物・花き取引会議」を6月2日(木)に長野市内で開催しました。青果・花き主要卸売会社23社の代表者、長野県より阿部守一知事、中島恵理副知事、北原富裕農政部長をはじめ農政部関係者、県下J A組合長・理事長、全農長野県本部関係者ら90名が出席しました。

会議の冒頭、挨拶に立った全農長野県本部運営委員会大槻憲雄会長は「日本農業を壊す恐れのある環太平洋連携協定(TPP)や、全国的な温暖化、国民購買力の減退など農業を取り巻く環境は懸念材料が多く、農家所得向上コストに見合った収入確保が課題である。そのためにも、主要取引会社の皆様とのパートナーシップをより強化し

たい」と述べました。

阿部知事は「農業・農村振興なくして活力ある地域作りはありえない。長野県農産物の流通の根幹におられる取引会社の皆様は、長野県の地方創生に欠かせない存在です」とバックアップに期待しました。

県農政部の北原部長からは、『夢に挑戦する農業』『皆が暮らしたい農村』を基本とする〈第2期長野県食と農業農村振興計画〉について説明がありました。

全農長野県本部は、平成28年度の果実・野菜・きのこ・花きの取扱高を計1,552億円(前年比95%)とする計画を示し、「生産基盤の維持・拡大」「集出荷対策の向上」「販売力の強化」「商品提供力(ブランド力)の強化」について説明しました。また、生産者手取り向上のため、従来の販促活動に加えて消費者の長野県産農産物への共

感や信頼を高める長期的な取組み(IIブランドینگ)を一層強化する戦略を発表しました。

各社からいただいた提言では、東京青果(株)の川田一光社長が「TPPより懸念されるのは、農業の規制改革を農業に詳しくない人たちが議論していることだ。特殊な例をもとに全体を論じるケースが多いのが困る。我々が行っているマーケットインの手法等、全農の正当性を強く訴えるべき」と提言されました。

長野県連合青果(株)の堀雄一社長は「人口減少の日本に対し、世界は人口急増・食料不足の観があるが、日本で売れない物を世界へ、というのはそう甘くない。事業として儲かる仕組みを作れるかがカギである」と指摘されました。

(株)なにわ花いちばの大西進社長は「花きは1977年にTPPにより関

税が撤廃されて以降、輸入品との競争が激化し、厳しい実態にあるものの、その中でも活気ある産地、品目は生産量を伸ばし、人気を集めている。優れた専門技術者が優れた生産者を継続的に育てることが重要。J A、全農長野に課せられた責任は大きい」と提言されました。

なお、会議に先立ち本年度の取引が盛大に行われるよう、善光寺大本願にて商売繁盛を祈願しました。

▼生産販売部



座長を務めた高木本部長

宅配商品の良さを 実感していただきました

～JAみなみ信州で宅配利用者懇談会～

全農長野県本部生活課は5月26日(木) JAみなみ信州のみなみちゃんホールで開催された宅配利用者懇談会に参加し、宅配商品の特徴を説明しました。

JAみなみ信州の利用者懇談会は、管内各地区の代表者20名の委員の皆さんを対象に年間4回の研修会が開かれており、今年度で第11期目の開催です。この日は今年度第1回目の研修会で、意見交換と商品研修が行われました。

商品研修に当県本部生活課の富山あけみ管理栄養士が出席し、日頃宅配でお届けしている商品の中から4品(塩蔵湯通しわかめ、チーズ入笹かま、信州豚、無塩漬ポークウインナー)について、市販品との違いを説明しました。商品や食品添加物についての説明と共



に食べ比べをしていただき、実際に商品の違いを感じていただきました。出席者からは「普段、食べ比べることがないので、わかめの食感や笹かまの歯応えなど、商品によって違いがあることがよくわかった」などの感想をいただきました。また、JAの宅配については「生協と違い、商品が冷凍でなく届くところがよい」「いろいろなものが食べられて、毎回楽しみにしている」などのご意見をいただきました。

今後もさまざまな機会でご意見をお聞きし、宅配事業に活かしてまいります。

7月には、新規成約の方を対象にした、値引きキャンペーンを実施します。この機会にぜひ、JAまごころ宅配をご利用ください。

6月から志賀高原SSが認定！

～キーパープロシヨップ県下JA・SS初設置～

SS協同経営課では平成27年度よりkeeper技研(株)が認定するキーパーコーティングを重点推進商品と位置づけ、スクールと検定に参加し、各SSで商品販売を開始しました。

更に平成28年度は1級資格取得により設置が認められる「プロシヨップ」の設置を目指しており、6月から志賀高原SSが県下JA・SS初のプロシヨップに認定されました。

6月16日(木)～7月31日(日)まで供給促進策第一弾として、ENEOSカード会員の皆様にダイレクトメールを送付し、キーパー商品の値引きをご案内するとともに、燃料油を対象とした値引き券をプレゼントしています。



志賀高原SS
住所: 〒381-0401 下高井郡山ノ内町平穂4127-13
電話番号: 0269-33-2121
営業時間: 月～土曜日7:00～20:00
日曜・休日8:00～19:00



金芽米おにぎり、きのこ汁が大好評！

～佐久で東都生協田植え交流会開催～

全農長野県本部米穀課は、JA佐久浅間と連携し、5月28日(土)に東都生協「田植えツアー」を受け入れました。この田植えツアーには、毎年30名程度の東都生協組合員さんが参加し、総勢60名以上で田植えをします。今年は、東都生協組合員さん大人20名、小学生以下のお子さん14名が参加。精米会社の社員の方も積極的に参加し、総勢60名以上が参加する交流会となりました。

東都生協の組合員さん向け商品である「金芽米」は、原料にJA佐久浅間産のコシヒカリを使い、東洋ライス(株)が精米をしています。これが縁で、生産地と消費地を結ぶ交流会として田植えツアーを実施していますが、例年、多数の応募をいただくため、参加者は抽選で選ばれます。作業開始にあたり、JA佐久浅間営農指導部 米穀課の市川忠徳課長が「景色の良い佐久地域で手間を掛けて作った、安全で安心でおいしいお米を食べ続けてください」と挨拶がありました。田植えは6～7名の

グループごとに生産者が指導をしながら、1時間ほどで終了しました。

昼食にはJA佐久浅間産のコシヒカリが使われた金芽米おにぎり、長野県産のきのこを使ったきのこ汁を提供し「おいしい」と大好評でした。

東都生協の組合員さんは「初めて田んぼに入りました。土の感触が忘れられない」「やっとな抽選で選ばれて参加できた」「生き物がたくさんいる環境で育ったお米を食べることができてうれしい」「自然の中だと体調が良くなった気がする」などの感想をいただきました。

この田んぼで、6月末には「生き物調査」、10月には「稲刈りツアー」が予定されており、産地と消費地との交流が続きます。米穀課ではこのような活動をおとして長野県産米のファンを増やし、消費拡大を目指します。



6月は牛乳月間

～松本山雅FCホームゲームで信州の牛乳をPR～

全農長野県本部酪農課は、6月の牛乳月間に合わせて県産牛乳と乳製品をPRしようと、6月4日(土)の松本山雅FCホームゲーム前に、イベントを開きました。

松本山雅サポーターにはお馴染みの「松本山雅牛乳」の試飲は1,500杯を用意し、サポーターに「信州産100%生乳を使った松本山雅牛乳はいかがですか」と声を掛けると、「いつも飲んでいますが味が濃くておいしい」と言いながら召し上がっていました。搾乳体験は、牛を模した搾乳体験器で行いました。スタッフが「牛の乳首をゆつくり握ってね」と教えると「出てきた！」と驚きの声が上がりました。

子どものころは毎日のように飲む牛乳ですが、大人になると飲まなくなる方が多く、今回の試飲で「久しぶりに牛乳を飲んだ」という声もありました。今回のような試飲が、日常的に牛乳を飲むきっかけになることを期待します。



歓声を上げながら搾乳体験をするお子さん

夏休みに親子で楽しめる野菜レシピを提案

夏の元気を食べよう！「野菜ソムリエKAORUの信州高原野菜de食育塾」

全農長野県本部生産販売企画課は6月9日(休)、長野県の情報発信拠点「銀座NAGANO」と食育イベントを共催しました。

飯綱町出身の野菜ソムリエKAORUさんを進行役に、ゲストにはタレントで3児の子育て中のくわばたりえさんを迎え、日本最大級の料理ブログのポータルサイト「レシピブログ」で募集した子育て中のプロガー20人が、夏に旬をむかえる野菜を中心に県産農産物を学びました。

どもが「夏白菜のコールスローサラダ」を食べていました」「白菜がみずみずしい！夏にも旬があるとは驚きです」「野菜そのものの味を楽しめるレシピでおいしい」など、今後の食事作りに参考にしたいという声をたくさんいただきました。

くわばたりえさんや受講者のブログには、食育塾の様子やお料理の画像とともに「子どもたちにおいしく野菜を食べさせたい」という気持ちが詰まった記事が掲載されています。



「野菜をあまり食べてくれないんですが、お味噌汁が好きなので、野菜をたっぷり入れて作るんです」という、くわばたりえさんのお子さんの野菜好き嫌いの話題から始まった「食育塾」。旬の野菜の魅力や、信州での野菜の食べ方、苦手な野菜を食べやすく調理する工夫など話題は尽きず、親子で作れる簡単レシピを試食しながら和やかなイベントとなりました。

受講者は半数が乳幼児と一緒に参加し、「好き嫌いの多い子



KAORUさん(左)とくわばたりえさん(右)の楽しいトークで、和やかなイベントになりました

くわばたりえさんのブログ「くわばたりえの やせる思い」
<http://ameblo.jp/kuwabata0324/entry-12169222882.html>
[イベントの様子が6月10日に掲載されています]

『夏白菜のコールスローサラダ』

【材料】 2人分

夏白菜(千切り) 150g(約2枚分)
ズッキーニ(千切り) 50g(約1/4本分)
コーン 30g
信州産ロースハム(細切り) 30g(約2枚分)
塩(信州産山塩) 小さじ1/4



A レモン汁 適量
マヨネーズ 大さじ1
こしょう 少々

【つくり方】

- ①夏白菜、ズッキーニは塩をふってしんなりするまで置き、水気をしぼる。
- ②①、コーン、ハム、Aを和える。



左上から右回りに「栄養満点!緑野菜の冷製ミルクスープ」「真っ赤なお野菜ゼリー〜シャインマスカット添え〜」「夏野菜のコールスローサラダ」「高原野菜もりもりタコライス」

全国植樹祭で県産農産物をPR

全農長野県本部は6月5日(日)、「第67回全国植樹祭」式典会場の長野市エムウェーブで、県産農産物をPRしました。

式典で来賓と関係者に配られた6,500個の弁当の食材とリンゴジュース6,000本の提供、式典前後の「おもてなし」として、りんご三兄弟ソフトクリーム2,000食の試食と野菜ジュース、ピーチジュース、ブルーんジュースの試飲を行いました。

弁当の食材は、米(風さやか)・アスパラガス・セルリー・えのきたけ・ぶなしめじ・なめこ・エリンギを提供。



県産食材をふんだんに使ったおもてなし弁当



りんご三兄弟ソフトはセルフサービスで好きな味を試食

「食と農と協同に 共感をつくります」の実現へ活動をより活発に。

「JA長野県農産物PR協議会通常総会を開催」

JA長野県グループの県域組織で構成するJA長野県農産物PR協議会は、6月1日(休)にJA長野県ビルで平成28年度通常総会を開きました。

平成27年度の事業報告と決算、平成28年度の事業計画と予算等を可決し、会則を変更して賛助会員を拡大することを決めました。

今年度同協議会は、JA長野県長期構想後期中期計画(平成28年度〜30年度)の全体目標に掲げられた「食と農と協同に共感をつくります」を実現するため、活動をより活発にします。具体的には、今年度からJA長野県広報委員会が実施する「地産地消キャンペーン」と連携したPR資料の作成や情報発信、食農教育・地産地消に取り組む県や生協連などの組織と連携した事業に取り組むことで、

長野県農畜産物の「おいしさ」と「安全安心」を伝えます。また、JA長野県グループの県域組織が一体となって活動する姿を伝える広報・宣伝活動を展開します。



あいさつをする高田武司会長(全農長野県本部生産販売部長)



▶JA長野県広報委員会が実施する「地産地消キャンペーン」のロゴマーク

7月の動き▶

総務広報課	7月24日(日)	松本山雅FCホームゲーム スイカPRイベント アルウィン
生産販売企画課	7月16日(土) ～8月31日(水)	「JA全農長野 信州農産物でチケットGET!!」キャンペーン 「信州ミツ山マーク」3枚、またはJA松本ハイランド産スイカシール1枚を一口として応募いただくと、抽選で10/8松本山雅FCホームゲーム「JA全農長野デー」の観戦チケットなどが当たるキャンペーンです。
	7月28日(木)	松本山雅FC選手とふれあおう! ～スイカ祭～ デリシア広丘店(塩尻市)
生産販売企画課	7月20日(水)	農から楽しむ食の世界(野菜編) 信学会幼稚園
JA長野県農産物PR協議会	7月21日(木)・22日(金)	長野県生協連合会「食育ランチ」 信州大学、松本大学、長野県短期大学食堂
野菜花き課	実施中 ～7月10日(日)	信州とれたてキャンペーン第2弾
	7月1日(金) ～8月7日(日)	信州とれたてキャンペーン第3弾
	7月7日(木) ～9日(土)	国際フラワーフォーラム2016 ホテルブエナビスタ 他
農業機械課	7月15日(金) ～16日(土)	2016JA農機&資材フェスタ 長野市エムウェーブ
酪農課	7月2日(土) ～3日(日)	大人の文化祭2016 長野市エムウェーブ
中信事業所・南信事業所	7月29日(金) ～30日(土)	2016なんしんフラワーフェア JAみなみ信州営農部会議室 JAみなみ信州・JA信州諏訪・JA上伊那管内で生産されたキウ、カーネーション、タリア、トルコギキョウ、アルストロメリアなど約400点が出品され、品質や栽培技術を競います。
▶審査会……………7月29日(金) 12:30～14:30 ▶審査結果決定……………7月29日(金) 16:00頃 ▶表彰授与式……………7月30日(土) 13:00		

7月のテレビ・ラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
7/5(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	「大人の文化祭」出展の様子
7/12(水) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	ズッキーニの紹介
7/12(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	酪農家訪問
7/19(水) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	スイカの紹介
7/19(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	乳和食について
7/26(水) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	カーネーションの紹介
7/26(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ
7/4、11、18、25(月) 17:30	FM長野	ラジモ内 『JA全農長野「発見!ながののゲンキ!～みらいのミカタ」』	レタスについて

各地で梅雨入りしています。今年の降雨傾向は平年よりも、特に7月上旬は全国的に雨量が増加するという当初の予想ですが、この号が発刊されるころはどんな様子になっているのでしょうか。世界規模で天候に影響を及ぼす「エルニーニョ現象」は終息した様子ですが、今回のそれは記録が残る1949年以来最も長くなったということです。

既に7月～夏発生の可能性を受けてこの夏は猛暑になるとの話があるようですが、一方で7月～夏と夏の気温の関係には過去の参考にする例(サンプル数)が少ないため、その予想はあまり参考にならないという説もあります。今さら言うことではありませんが、我々の業務は天候に大きく影響される内容です。異常気象と言われて久しいですが、注意深く気象情報を見て行きたいと思っています。

編集後記

JA全農長野の事業現況▶

平成28年度5月末部門別実績表 (単位:百万円,%)				
部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	2,833	191	108
果	実	313	133	146
野菜花き		4,745	167	122
野菜種苗センター		63	104	112
きのこ		2,582	106	102
営業		1,103	118	119
生産販売部計		11,641	146	113
包装資材		942	88	98
生産資材		2,659	91	86
農業機械		1,383	111	106
施設住宅		707	102	220
生産購買部計		5,691	96	100
畜産		2,319	127	115
三岳牧場		50	106	130
SPF繁殖センター		49	106	115
酪農		2,944	107	105
八ヶ岳牧場		46	94	107
畜産酪農部計		5,408	114	109
燃料・ホームエネルギー		3,348	95	83
S S 協同経営		1,514	80	84
生 活		2,301	104	98
生活部計		7,164	94	88
長野県本部計		29,903	114	103

(内部販売高含む)

新採用職員紹介

【中信事業所 生産販売課 小松原 英裕】
中信事業所生産販売課で野菜ときのこを担当しております、小松原英裕と申します。出身は伊那市です。大学で農業について学び、長野県の農業に貢献したいと思い入会しました。中信の野菜・きのこは扱う品目数が多く、学ぶ機会に恵まれていると感じています。一日でも早く力になれるように努力してまいりますので、よろしくお願いします。



販売現場でも学ぶことがたくさんあります

【燃料・ホームエネルギー課 岡野 孝慈】
はじめまして。岡野孝慈と申します。出身は小布施町です。燃料・ホームエネルギー課でガスを担当させていただいております。今は1日も早く一つ一つの業務に慣れ、一人前の職員になり、LPガスの魅力を発信し、組合員の方々のお役にたてるよう頑張りたいと思います。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



キャッチくんと一緒にがんばります

A-Board

掲示板

「JA農機&資材フェスタ2016」のご案内



- 日時 平成28年7月15日(金) 9:00～16:00
16日(土) 9:00～15:00
- 会場 長野市オリンピック記念アリーナ エムウェーブ
(長野市大字北長池195)
- 主催 長野県農協生産資材事業推進協議会
- 入場料 無料

7月15日(金)～16日(土)の2日間、長野市エムウェーブで「JA農機&資材フェスタ2016」を開催します。
農機メーカー、生産資材メーカーなど58社のご協賛をいただき、最新農業機械はもちろん、肥料、農薬、農業資材まで幅広く展示・即売します。
第20回記念の今年は、「20万円ぽっきりコーナー」を開設。管理機、運搬車、畦草刈機などを記念価格の20万円でご用意します。
サブテーマ「近未来への挑戦!」に相応しく、ドローンの展示やアシストスーツを試着・体感できるコーナーも設置。
皆様のご来場を、お待ちしております。

近未来への挑戦! 日本農業の応援団

2016

20th

第20回記念

JA農機&資材フェスタ

2016年

7月15日

金

7月16日

土

AM9:00~PM4:00

AM9:00~PM3:00

開催場所 **エムウェーブ**
(長野市オリンピック記念アリーナ)

どなたでも
入場無料

トラクター・田植機

農機具類から

肥料・農薬・農業関連資材まで

使って便利な品々が

「Mウェーブ」に大集結!!

目玉機や実演機など
お値打ち品も展示!!



花の苗や
カーテニング用品等も
たくさん取り揃えて
お待ちしております!!



■主催

長野県農協生産資材事業推進協議会

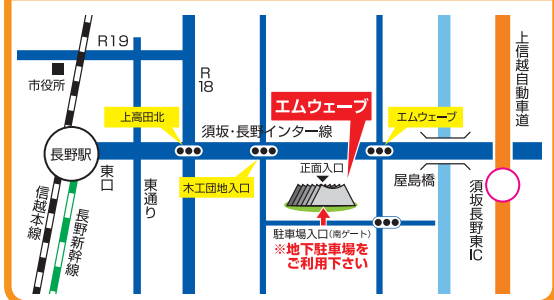
■後援

長野県、長野県くみあい農業機械サービス連絡協議会
JA全農長野

~あなたの帰りを待っている人がいます~

ストップ・ザ・農作業事故 農作業安全はJAの願いです。

会場ご案内図



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA全農長野ホームページ

<http://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JAタウン」

<http://www.ja-town.com>

